



【実物初公開】文化財講座「顔面把手が見つめる縄文時代」

概要	10月に出土した「両面顔面把手」の展示説明会を開催し、実物を初公開します。
効果・目的	希少性の高い両面顔面把手土器が出土したことを市民に広く周知し、実物を鑑賞してもらうことで、文化財保護・愛護の意識を醸成することを目的としています。
内容、セールスポイント	<p>10月28日に発表した時点では検討中としていた公開の機会を設けました。</p> <p>出土経緯など市職員が説明し、実物の愛嬌ある両面の顔を360度自動回転で鑑賞できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 顔面把手（内側） 顔面把手（外側） </div>
とき	12月17日（土）午後1時～4時
ところ	サニープレイス座間3階研修室
講師	市生涯学習課職員
定員、対象者	どなたでも※10人ずつ、10分程度の入れ替え制。
入場	無料
申込	当日直接会場へ
その他	<p>○写真・動画撮影は可能です。なお、SNSなどに載せる際は「#座間の遺物、#両面顔面取手」の併記にご協力をお願いします。</p> <p>○取材を希望する場合は、事前に担当へご連絡ください。</p>
問い合わせ先	<p>教育部 生涯学習課 市史文化財担当</p> <p>TEL 046 (252) 8431 FAX 046 (252) 4311</p>